

<基本計画（案）の修正ポイント、パブリックコメント案について>

発言骨子	要旨	回答
基本方針 2 表現	○「駅・港・空港を効果的につなげる仕組みづくり」とあるが、どのような仕組みをつくるのかがわからない。概念として連携性を強化するのであればわかるが、具体的なビジョンがない中で仕組みづくりは馴染まないと考える。	○本市が進めている新潟駅の連続立体交差事業と、県が進める港・空港への取り組みとの連携を今後図っていくことが仕組みづくりのひとつと考えている。記載の言葉は市長の発言を参考としていたため、ご提案を踏まえ表現については検討したい。
基本方針 2 表現	○広域交通、二次交通とはどのようなことか。また「広域交通と連携強化」とあるが「広域交通との連携強化」ではないか。	○広域交通拠点として駅・港・空港があり、広域から人が集まる拠点と、その拠点間をバスやタクシーなどの二次交通で結ぶことを広域交通との連携強化としている。表記については、脱字によるミスであり、「広域交通との連携強化」に修正する。また、わかりやすい表現については、「駅・港・空港などの広域交通拠点」または、「広域交通拠点（新潟駅、港、空港）」と表記を統一することとしたい。
基本方針 1 表現	○資料 2-1 の多核連携型のまちづくりを支える交通戦略の凡例が放射軸、環状軸とあるが、「多核連携型」なのだから連携軸ではないだろうか。	○連携軸として、南北を結ぶ放射軸と東西を結ぶ環状軸を表現している。

資料 2-1 の表現	<p>○資料 2-1 のキャラクターの吹き出しについて、「便利な公共交通がたくさんあってワクワクがとまらないよ！」とあるが、公共交通とまちなかのどちらに対してワクワクを感じているのか。</p> <p>○「まちなかへの通勤もストレスも感じないな！」とあって皆座っている絵だが、越後線などは立っている人がたくさんいるので、「車より早くいける」など実態に即しているコメントにすべきである。</p>	<p>○様々な公共交通に乗ることができて、さらにまちなかを楽しむことができることがワクワクと考えているが、わかりやすくなるように修正する。</p> <p>○修正する。</p>
基本計画 の表現	<p>○資料 1-2 について、基本方針 5 では文章中に「市民にとって使いやすく喜ばれる公共交通に改善」とあるが、基本方針 2 では「市民の皆さまからのご理解を得ながら進めていく」と遜った表現となっているので、表現レベルの統一をすべき。</p>	<p>○統一する。</p>
新潟駅万 代広場の パース図	<p>○資料内に新潟駅万代広場のパース図が多くあるが、最新のものを利用していただきたい。</p>	<p>○担当課と調整し、公表が可能なものであれば対応する。</p>
各種現状 値	<p>○資料 2-2 でそれぞれの現状を記載しているが、年次がバラバラであるため見づらい。データがない場合を致し方ないが、基準年を設けて統一すべきである。</p>	<p>○データがない場合を除き、統一した基準年に修正する。</p>
課題への 対応	<p>○資料 2-2 の 7 ページで、「公共交通の利便性向上と自家用車との適切な役割分担」など 6 つの課題を記載しているが、各々の課題に対しての成果指標はあるのか。</p>	<p>○前期実施計画の成果指標、「公共交通の利用率向上」及び「市民満足度の向上」で成果を計っていききたい。</p>

各種現状値・事後評価	○今後 10 ヶ年の計画であることから、推計値は 10 年後の数値が望ましい。また、事後評価であれば、10 年前に作成された計画なので 10 年前の数値と比較することが望ましい。	○修正する。ただし、データがない場合は直近年次の数値を採用する。
基本計画の表現	○「ラストワンマイル」、「モビリティマネジメント」など、市民の皆さまが見てわからないような表現は注釈をつけた方が良い。	○専門用語について注釈をつけることで対応する。
概要版の表現	<p>○資料 2-2、6 ページの 2018 年のまちなかの歩行者数は誤字であるため修正すること。</p> <p>○7 ページの、6 つの課題から新たな将来像・基本方針を策定しているわけだが、構成上、課題の方が目立っている。6 つの課題から新たな将来像・基本方針への繋がりがわかるようなコメントを入れた方が良い。また、課題の 6 点目について、「広域交通（駅、港、空港）」になっているが統一するなら広域交通拠点となる。どちらでもいいが、統一感をもつこと。</p> <p>○13 ページ、青の吹き出しで「公共交通の乗り継ぎ強化」とあるが、「乗り継ぎやすさ」などの表現の方が良いのではないだろうか。</p> <p>○14 ページに様々な写真が添付されているが、10 年後に全てを導入できるとは思えず、ここで大切なことは子供たちを巻き込んだ自動車から公共交通への転換促進や、お出かけを支援する乗りものなどであることから、そのような写真だけにした方が良いと思う。</p>	<p>○誤字であるため修正する。</p> <p>○課題から新たな将来像・基本方針への繋がりがわかるように表現を修正する。広域交通の部分について、全体を通して表現を統一する。</p> <p>○「乗り継ぎやすさ」という表現に修正したい。</p> <p>○写真については、改めて検討する。</p>

BRT・新バスシステム	<p>○修正ポイントの中で、新バスシステムについては「市民の皆さまからのご理解を得ながら進めていく」とあるが、運行ルート決定権は市とバス事業者どちらにあるのか。市はバス事業者と協議すると報道されているが、市長の交代前後で決定主体の認識に変更はないか。</p>	<p>○BRT・新バスシステムは、本市と運行事業者と協働で進めている事業である。運行に関しては運行事業者、施設整備については本市が行う公設民営方式として、協定を締結し、役割分担を定めている。</p>
概要版	<p>○資料 2-1、2-2 について、それぞれ本冊のどこの内容のことなのかわかるようにしないと、詳細がわかりたい人に対して親切でない。</p> <p>○専門用語については注釈もしくは用語集を作成するなど、だれが見てもわかるような資料にすること。</p>	<p>○概要版に本冊のページを記載したい。</p> <p>○注釈もしくは用語集を作成したい。</p>
資料 2-1 の表現	<p>○パブリックコメントではほとんどの人が資料 2-1 で判断すると思うので、資料 2-1 だけを見て 10 年後の姿がわかるように、強弱をつけること。ユニバーサルデザインから言えば、判別しづらい色がある。</p>	<p>○色の使い方については、見易さの視点から見直したい。</p>
パブリックコメント	<p>○パブリックコメントの周知について、市報掲載後ホームページを見てもらうことになるかと思うが、ホームページでも見つけやすい工夫を検討いただきたい。</p>	<p>○見つけやすいホームページとなるよう検討させていただく。</p>
基本方針 2 の表現	<p>○資料 2-1 の基本方針 2、取り組みの方向性における、基幹公共交通軸の説明はこの基本方針に適さないと考える。また 2 行目については、「駅・港・空港をバスやタクシーでより円滑に連携させ、交流人口の拡大を図る」とした方が良い。</p> <p>○資料 2-2、11 ページについては、万代広場でなく高架下交通広場のパース図の方が、連携強化の視点では良いと考える。</p>	<p>○基本方針 2 については、広域交通拠点と 2 次交通との連携のほか、基幹公共交通軸との連携も謳っているものであり、わかりやすい表現のなかで基幹公共交通軸との連携を記載したい。2 行目については、参考にさせていただき改めて検討する。</p> <p>○修正する。</p>

<前期実施計画成果指標（基本方針3）について>

発言骨子	要旨	回答
現状・目標値	○指標の目標値を1桁まで標記しなくても良いのではないかと。ほかの成果指標と整合を図り数値を丸めてはどうか。	○数値を丸め 15.4 万トリップに修正したい。
データの 内訳	○駅前・万代・古町をまちなかとしているが、それぞれの内訳もわかるのか。	○調査方法の都合により、駅前・万代と古町と2つのエリアでの内訳はわかるので、内訳も表記できるように検討したい。
基本方針 2 成果指 標	○基本方針2の来訪者の路線バス利用者数の指標把握について、ICカード毎の集計は可能なのか。	○ICカードの集計は可能であり、成果指標は、りゅーとカード以外のICカード利用者数で計測する。